

大久保図書館アラビア語おはなし会チラシ12年の歩み

富澤規子

12年目にしてイラストレーター導入発覚

今年も新宿区立大久保図書館とアラビア語おはなし会の準備をする季節が参りました。この準備で早めに手をつけなければならないことが、チラシの作成です。毎年7月最終の土日曜日にむけて6月下旬には配布を始められるように、5月にはチラシの草稿が大久保図書館から私に送られてきます。今年はその草稿に添えて図書館長の米田雅朗氏から「チラシはイラストレーターというソフトで作るようになっていました」とメッセージが添えられていたので、私は息を飲みました。イラストレーターとは Adobe 社が提供するグラフィックデザインソフトで、このオペレートはデザイン系専門職の必須スキルと聞いています。

大久保図書館のチラシ類は長年、多くの公官庁のそれと同様にパワーポイントで器用に作成されたものでした。それがイラストレーター導入とは何があったのかと。私の絶句は驚きよりも「アラビア語のチラシはどうするの？」と言う動揺からです。コロナ禍前は和文チラシの完成稿をパワーポイントデータで送ってもらい、私がアラビア語訳を上書きしていました。コロナ禍後は他企画準備と並行で手が回らずアラビア語版チラシ作成を見送っていましたが、今年は余裕があるので久しぶりに作ろうかとしていた矢先だったのです。思い返せば、昨年からはチラシ作成を担当する職員 T 氏のスキルが図書館員の範疇を明らかに超えていたので、イラストレーター導入は来るべくして来た成り行きだったのかもしれません。

「アラブのヤシの木」

新宿区立大久保図書館主催のアラビア語おはなし会「アラブのヤシの木」は2015年からの企画です。

砂漠のイメージが強いアラブ中東は、実際の人口比で言えば農業従事者の方が圧倒的に多く、そこに根差した伝承文化が各地にあるのですが、日本にはまだ十分に説明されていません。特にエジプトは古代から農業大国であり、輸送業はナイル川による水運が盛んであったため、砂漠の民と呼ばれるベドウィンは紅海側の限られた地域にしか住んでいないのです。エジプト発行のアラビア語絵本に目を向けても、子ども達が登場する日常的な物語の舞台は都市部はもちろんのこととして、農村やナイル川岸の風景が多く、砂漠は特殊な舞台設定として以外ではあまり描かれることはありません。

そこでヤシの木をはじめとした緑豊かなアラブの伝承文化を紹介しようと言う目的で、アラビア語おはなし会「アラブのヤシの木」が始まりました。中東では先史以前から栽培されているナツメヤシは、降雨量の少ない環境でも栄養価の高い実をつけ、アラブの食文化になくてはならない植物です。その上、収穫の際に生じる大量の枝葉で多くの生活用品を生産でき、庶民の生活風景にはヤシの木の手工芸品があふれていました。

そしてヤシの木をアピールしたデザインで、出来上がったチラシがこの二つです。



パワーポイントでフリーイラストを組み合わせて仕上げているとは思えないほどの出来栄え、当時のチラシ作成担当者の腕前には惚れ惚れしたものです。この方もイニシャルがTなので、本稿ではこちらの作成者を初代T氏、冒頭のイラストレーターによる作成者を当代T氏と呼び分けます。

このチラシの甲斐あってか、来場者数も目標のほぼ倍と大盛況で、翌年の開催を約束しての最初の「アラブのヤシの木」は終わりました。

誰にも読めないアラビア語のチラシ

2年目の「アラブのヤシの木」です。初代T氏が1年目のチラシに上書きするかたちで作り終えた後、館長の米田氏が突飛なメールを送ってきました。

アラビア語のみでチラシをつくれないうか、と。

この企画は日本国内の日本人対象のイベントです。アラビア語で作成したとして、いったい誰に読めると言うのでしょうか。誰にも読めないチラシと言うのはチラシとしての機能を失っているのではないかと疑ったものの、この頃はまだ館長に対して遠慮があったので、私は言われるがままでした。

日本語の内容を訳し、パワーポイントのテキストボックスを差し替えるだけですから作業自体は簡単です。パワーポイントデータを送ってもらい、1ページの中に詰め込まれた大量のオブジェクトに驚きつつ、どんなレイヤー（重なり順）構造になっているのかじっくりと精査しました。そしてじっくりと凝視した結果、このチラシのヤシの木は「アラブのヤシの木」ではないと発見しました。大きな実のシルエットがどう見てもナツメヤシではなくココヤシ、つまり「南洋のヤシの木」だったのです。

1年目のチラシ草稿チェック時に、アジアの「フタコブラクダ」だったのには気が付いてアラブの「ヒトコブラクダ」に差し替えてもらったものの、ヤシの木の方には気がまわりませんでした。このチェック漏れは私の痛恨の見落としです。

日本語版は既に告知配布され差し替えができないとのことで、アラビア語版だけでも差し替えようとしたところ、どれだけ検索しても「ナツメヤシ」のフリーイラストがありませんでした。私にとっては、フリーイラストにないくらいに「ナツメヤシ」は日本人に馴染みがないのだと突きつけられた出来事でした。そこでアラビア語版チラシでは、ヤシの木のイラストの代わりに昨年の会場写真を差し替えてもらいました。

新宿区立大久保図書館
مكتبة اوكونو التابعة لمحي تيلجوكو بمحافظة طوكيو

أشجار النخيل العربية
لقاء آخر مع شجرة النخيل العربية

استخدامات شجرة النخيل العربية في منتجات أي شيء
من صناعة ليفة الحمام إلى بناء المنازل

7/23~24
13:00~16:00

سنقيم قراءة شفوية للكتب المصورة العربية
في غرفة الكتب المصورة بمكتبة اوكونو.
فنستمع بالثقافة التقليدية المصرية،
وحكايات عن الخرف من النخيل،
ولبس الملابس التقليدية، وكتابة الاسم بالعربية.

~タワシからお家まで
なんでも作れるアラブのヤシの木~
7月23日(土)~24日(日)
午後1時~4時

おおくほとしょうかん 久保ん
大久保図書館の絵本コーナーにて、アラビア語の絵本
の読み聞かせをします。また、エジプトの伝承文化や、
ヤシの木を使った工芸品のお話、民族衣装の試着、ア
ラビア文字で自分の名前をかいいたりします。

協力: 富澤規子氏(アラビア語翻訳者・桜美林大学草の根プロジェクト
板橋区立いたばしポロニヤ子ども絵本館)

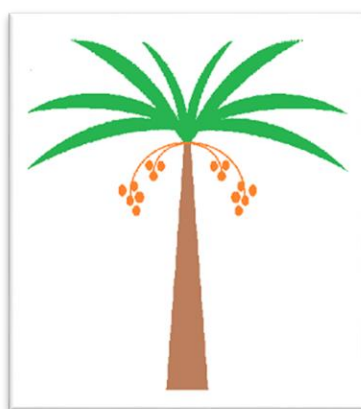
التعاون: أنور يوكو نومراوا (مترجمة اللغة العربية)
مشروع كوثلوني بجامعة أوبيرلين
مكتبة إيتاباشي بلونيا الكتب المصورة للأطفال التابعة لمحي إيتاباشي بمحافظة طوكيو

この差し替え写真のおかげで、何が書いてあるかわからないものの推察はできる絶妙なチラシが出来上がりました。配布先は「しんじゅく多文化共生プラザ」や日本語学校などでした。図書館内置きでもアラビア語版もいつのまにかなくなっていたとのこと。アラビア語が読める来館者がそれほど多いとは思えないので、どなたが持っていくのだろうと不思議に思いつつも、館長米田氏のアイデア勝ちに嬉しくなりました。また、図書館見学にいらした方にも積極的にアピールして頂いていたとのことでした。

このような告知としての用をなさないチラシにも関わらず、当日は多くの来場者に恵まれ、3年目も開催しようと言う話になり、「アラブのヤシの木」のシリーズ化が決まりました。

3年目でようやくナツメヤシの木が登場

「アラブのヤシの木」と銘打ちながら、イラストは「南洋のヤシの木」だったチラシを2年も配布させてしまい、私は大久保図書館に対する申し訳なさで反省に苛まれていました。フリーイラストにないなら自分で描かなければなりませんが、私にはデジタル作画技術がありません。チラシ担当の初代T氏も他業務があるのにそこまで頼ってはいけないと思い、Windows 付属の paint 機能で「アラブのヤシの木」を作画しました。フリーハンド技術がないので、幾何学図形だけで構成したナツメヤシの木です。



伝承意匠において、豊穡や生命を象徴するナツメヤシを描画する時には鈴なりな実の房を忘れてはならず、熟れた状態とわかるよう赤からオレンジで彩色するのが良いとされます。私が専攻していたエジプト伝承意匠ではこのような言外のお約束で描かれた作例の観察も学びます。エジプトの地方に行くと、民家の壁に色とりどりのペンキ絵を見ることができ、一見拙い落書きに見えるかもしれませんが、文化背景を知っていると、最近この家に何があったのか等を読み取ることができます。たわわな実をつけたヤシの木が壁に描かれていれば、吉祥祈願だろうと想像ができるのです。

3年目のサブタイトルは「アラブのヤシの木のうえにも3年」、もちろん「石の上にも三年」に引っ掛けたタイトルです。アラビア語版タイトルは、国立ヘルワーン大学応用美術学部名誉教授ムスタファ・アブドルラヒーム先生に書いて頂きました。ムスタファ先生は、私の準修士時代の指導教官です。私が先生から受けた指導は主には伝承意匠のモチーフなどの基礎デザインで、上記の「伝承絵として描かれる時の留意」などもム

スタファ先生から習いました。初代T氏がムスタファ先生の手による題字をスキャンし、透過処理（余白部分に重なる後ろのオブジェクトが見える処理をしてくれた題字を貼り付け、出来上がったチラシがこちらです。



アラビア語版を作っていて苦労したのはレイアウトです。日本語版の一番下の部分は漢字を多く含む文字列で、これをアラビア語に訳すと文字量が倍近くになりました。アラビア語翻訳にはよくあることです。パワーポイントのオブジェクトをあちこに移動させながら、誰にも読めないであろう告知内容をどうにか紙面に収めました。

アラビア語のチラシで本当にアラブ人がやってきた

3年目のチラシで「透過処理されたアラビア語題字」を手に入れ、4年目のチラシは余裕綽々で作成しました。4年目の題字は私が自分で書きました。エジプト口語民話集から幽霊話を引用して翻訳し紙芝居に描いたので、書体を紙芝居内の書き文字に合わせたのです。そしてできたチラシがこちらです。



紙芝居からくりぬいたオブジェクト内に「ヤシの木」があるので、paint 機能でつくったあのモチーフが消えました。このアラビア語版チラシは完成が早かったこともあり、大久保通り周辺の飲食店や日本語学校に広く配布されました。アラビア語版チラシを読めない読めないと言っていますが、用をなさないチラシに新宿区の予算を使うわけにもいけないので、実際には日本語版チラシと合わせての配布と掲示です。

とはいえ目を引く告知には変わりなく、宣伝効果は絶大でした。このチラシを見たエジプト人ご家族が、本当に大久保図書館にご来場してくれました。

館内絵本コーナーにご一家が現れた瞬間に、会場の空気がガラッとかわりました。アラブのお話をしながら見ていた絵本の挿絵や写真の中の人々と同じ風貌の人々が前触れなくやってきたので、日本人来場者と私達開催者側はざわめき、一気に熱烈歓迎ムードになりました。思いもよらなかった国際交流が突然始まったのです。

ご一家はご両親に高校生のお姉さんと小学生の弟さんの四人連れでした。アラビア語版チラシを見たお父さんが、エジプトの民族衣装「ガラベヤ」を購入したいとのご来

場でした。民族衣装は展示と試着のみですと説明し、さらに紙芝居のエジプト口語パートの読み上げをお願いしました。

この日の主役はこのご一家です。日常レベルの日本語会話をできるのが高校生のお姉さんだけで、彼女は一家の通訳の役目をしていました。小学生の弟さんがアラビア語を忘れつつあるのが悩みとのことで、それでしたら大久保図書館の開架図書にはアラビア語絵本がたくさんあるので、いつでも来館して読んであげてくださいと案内しました。

アラビア語版チラシが本当にアラブ人を呼んだ顛末は、大久保図書館関係者では長く語り草となり、館長の米田氏は取材や視察を受けるたびに、このエピソードを披露していたそうです。

アラビア語版チラシの威力を実感して、翌5年目のチラシがこちらです。

新宿区立大久保図書館

مكتبة اوكونو التابعة لحي شنجوكو بمحافظة طوكيو

شجرة النخلة العربية

النخلة سقطت في قرية شجرة النخلة

سقط النيزك في مصر في 28 من يونيو 1911. هل تعرف النيزك؟
عندما سقطت النخلة الكبيرة فيها، الكلب في هذا الوقت!

من السبت 27 إلى الأحد 28 من يوليو 2019م.

من الساعة الواحدة ظهرا إلى الساعة الرابعة مساء
في غرفة الكتب المصورة بمكتبة اوكونو

بالإضافة إلى أساطير حضارية النيزك، سنقيم قراء شفوية
للكتب المصورة العربية وعرض الخزف من اللؤلؤ
ولبس الملابس التقليدية وكتابة الاسم بالعربية.
لقاء القراء عن شجرة النخلة العربية في السنة الخامسة!

التعاون: أنوريكو توميزاوا مترجمة اللغة العربية
مشروع كونثولوني بجامعة أوبيرلين
مكتبة إيتاباشي بلونيا الكتب المصورة للأطفال التابعة لحي إيتاباشي بمحافظة طوكيو
المجلس الدولي لكتب اليافعين باليابان

アラブのヤシの木
～ヤシの木のむらにおちた星～

1911年6月28日エジプトに
隕石が落ちました。隕石って
知ってるかな？
大きなお星さまが落ちてきて
ワンちゃんか！

7月27日(土)
～28日(日)
午後1時～4時

大久保図書館 絵本コーナー 出入り自由

隕石のお話しのほかに、アラビア語絵本読み聞かせや、
民芸品の展示、民族衣装の試着をします。
ヤシの木のおはなし会、5年目です！

協力：高澤規子氏（アラビア語翻訳者）・桜美林大学草の根プロジェクト
板橋区立いたばしローヤル子ども絵本館
一般社団法人日本国際児童図書館協会

この年、チラシ作成者が初代T氏の異動によりU氏に交代となりました。手書き題字の背景を透過処理するという特殊技術をもつ初代T氏が不在になり、アラビア語題字がタイピングにもどります。

子ども達が喜ぶのは、やはり「怖い話」「不思議な話」だろうと言うことで、1911年の隕石落下事件を取り上げました。エジプトの「ナクラ村」に落下した隕石が火星起源であり、火星隕石に分類される「ナクライト」はこの隕石に由来しています。ここまでは実話で、この隕石の破片にあたった犬が農夫ムハンマドさんの目の前で一瞬で消えたと言う都市伝説の部分を紙芝居に仕立てました。「ナクラ」は「نخلة（一本のナツメヤシ）」なので、直訳すると「ヤシの木の村」です。

予想通り「隕石にあたって犬が消えた」都市伝説の紙芝居は大盛り上がりでした。紙芝居の最後に「ナクラ隕石は日本語版ウィキペディアにもページがあります」と説明すると、ご来場の大人達が一斉にスマホで検索しはじめ、大人にも興味深いと思っていただけのおはなし会になりました。

第2回目から7月最後の土日に固定されたアラビア語おはなし会「アラブのヤシの木」は、猛暑酷暑と台風に大雨が最大の懸念になっていきました。新宿区では大雨などが「警報レベル」の時にはイベント開催は中止と指導されています。といって、私が夏にしか日本にいないので開催時期の変更もできず、毎年悪天候による開催中止を心配しながらも、順調に回数を重ねていきました。

ところが好事魔多し、コロナ禍で「アラブのヤシの木」は中断してしまいます。

6回目ははずだった2020年は「アラブのヤシの木」だけでなく、新宿区立図書館の企画は全て中止でした。なにより移動制限で私自身の帰国ができません。世界中の人々が移動制限をおして本国へ避難するなか、私がエジプト残留を選んだのはいつ再入国できるかわからないとの懸念からです。当時はエジプト文化省大学校に在学中だったので、指導教官だけでなく多くの先生方から「エジプトに残るように」と助言されました。滞在国側に在籍と予定があると、こんな状況でもかえって出国ができないのものです。

いつもは無愛想で名高いビザオフィスの窓口でさえ、ビザ更新申請書の申請理由欄で察したらしく可哀想な外国人を見る目で優しく対応してくれて、私は故国に帰れない異邦人気分を身に染みて感じていました。

コロナ禍と著作権

2020年4月7日に第一回目の緊急事態宣言が発令されて以来、あらゆる対面のイベントが中止になり、一部は Web 開催に移行し、催事のありかたが大きく変わりました。さて、アラビア語絵本のおはなし会、私自身が帰国できなくても Web 開催ならと考えた場合、解決しなくてはならない大きな問題がありました。

それは著作権です。Web 配信で読み聞かせをする場合、これは配布にあたるため著作権管理者の許可を必要とします。図書館内で数十人レベルの来館者になれば問題ない読み上げ朗読が、Web ではたとえ一人も視聴者がいないようなレベルでも無許可では問題になるのです。著作権管理者から許可を得ての図書館の読み聞かせは、現実的ではありませんでした。逆にとれば、著作権許可の必要ない作品ならば Web 開催は可能です。ならば権利が切れて著作権フリーとなっているか、私自身が著作権利者である作品があればよいのです。

びっくりするほど都合よく、私にはコロナ禍前年と前々年に自作した紙芝居がありました。これを Twitter アカウントで公開しようと言う試みになりました。「ヤシの木むらにおちた星」は隕石落下の都市伝説をもとに私自身が書き起こしているのです、そのまま使えます。「ヤシの木のしたにユーレイ!？」はエジプト口語による採話集からの翻訳でしたので、あらすじはそのまま文章の仔細を大幅に変更しました。こう言った著作権まわりの注意事項も館長の米田氏からアドバイスを頂き、相談しながらの準備を整えました。

用意できた紙芝居2点は、私に映像作成技術がないので、音声無しで画像と日本語文のみの Twitter 投稿となりました。投稿日時は本来予定されていた「アラブのヤシの木」の開催日時にあわせました。

通常とはイレギュラーな点がもう一つあります。通常ですと大久保図書館が主催で、私は協力なのですが、この関係が逆になりました。この回は私が主催で、大久保図書は協力です。大久保図書館主催のシリーズ名とチラシのフォーマットを使わせてもらうため、私が「協力」をお願いする形になりました。



日本語版を私自身が作成したのは、後にも先にも2020年だけです。この2020年は大久保図書館主催おはなし会としてはカウント外ですが、この Web 投稿をしたことで、コロナ禍でもアラブのお話や文化を日本の皆様に届けることを諦めずに、この後も数年続く行動制限のなか公共図書館での活動が続けようと言うモチベーションにつながったのだと思います。

コロナ禍からの復活と拡張企画

2021年に早々と大久保図書館主催の「アラブのヤシの木」が復活します。中央図書館から「マスク着用かつ展示のみで開催可」との GO サインがでました。会場は大久保図書館が入っている大久保地域センター3階和室です。とても広い会場で通常の読み聞かせができないままの開催ですが、とにもかくにももの再開です。

この年はもう一つ「アラビア語おはなし会からの拡張企画」がありました。コロナ禍でイベントを一切できなかったことで、エネルギーを持て余した館長米田氏が準備に力をいれて開催にこぎつけてしまった「中東三言語おはなし会」です。

大久保図書館はありとあらゆる言語話者を協力者として抱えており、アラビア語だけでなくペルシャ語おはなし会もコロナ禍前には実施されています。これでトルコ語が加われば中東でも話者が多い三言語が揃いますね、と以前から話をしていたのですが、コロナ禍のあいだにトルコ語話者が本当にみつかったのです。

2021年は「緊急事態宣言」発令中で行動制限がまだあり、飛沫感染を避けるために読み聞かせなどのイベントを行うことができず、展示だけの開催、そして見学のみ制限されました。新規企画は認可されないで「中東三言語」は「アラビア語」の拡張企画としての開催です。中央館と地域館あわせて10館の新宿区図書館では実施される企画も制限付きの継続企画のみ、それでも区のほとんどの図書館がイベントの中止を余儀なくされているなかで「中東3言語の企画を、展示だけでも実現できたことは良かった」と満面の笑みでおっしゃった米田氏の誇らしげな笑顔が忘れられません。

チラシの作成は2019年に続き図書館職員 U 氏です。初代 T 氏が作った砂漠背景のフォーマットから一新し、四隅にアラベスク文様を配した優美なデザインになりました。私が2017年に Windows の paint 機能で作ったナツメヤシの木のモチーフは復活です。

新宿区立大久保図書館 協力：富澤規子氏（アラビア語翻訳者）

かえってきた!! アラブのヤシの木

لقد عانت!! شجرة النخيل العربي

前年度は開催できなかった「アラブのヤシの木」がかえってきました! アラビア語絵本のおみせかけを行う予定でしたが、今回は絵本や民芸品の展示のみとなります。

感受対象もしっかり! アラブの文化にふれてみよう!

【日時】
令和3年7月24日(土) 大久保図書館内 絵本コーナー 午後1時30分~4時
25日(日) 大久保地域センター3階 和室 午後1時~4時

どなたでも 出入り自由

※同日、時間・会場が異なりますので、ご注意ください!
※今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況により、内容等変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

新宿区立大久保図書館 主催：新宿区立大久保図書館

中東3言語おはなし会

協力：斎藤いづみ氏(トルコ語) 豊平恵子氏(ペルシャ語) 富澤規子氏(アラビア語) 渡見良木氏(国歌の橋プロジェクト)

トルコ語・ペルシャ語・アラビア語の世界

Merhaba مرحبا بكم سلام

＜内容＞
★トルコのどんち話「ナスレディン・ホジャ」のお話をトルコ語、ペルシャ語、アラビア語の3言語で読み聞かせ!
★トルコ語、ペルシャ語、アラビア語の言語別でコーナーを設け工芸品の展示や詩の朗読などを予定しています。

どなたでも 出入り自由!

令和3年9月12日(日) 2:00~4:00
おおくぼろいセンター 3かい 和室

お問い合わせ 大久保図書館 3209-3812

※今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況により、内容・会場等変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

私は成田空港近傍のホテルに七泊隔離されながらの帰国な上、実質新企画の「三言語」の用意で余裕がなく、アラビア語版チラシの作成は見送りました。

U氏作成の日本語版チラシの仕上がりを見て、パワーポイントのオブジェクトレイヤーがどれだけ複雑になっているのかと、尻込みしてしまったのも本当です。

おおにゃん 𐤀𐤁𐤁𐤃𐤀𐤁𐤃𐤀𐤁𐤃𐤀 ぐぼにゃん 𐤀𐤁𐤁𐤃𐤀𐤁𐤃𐤀𐤁𐤃𐤀 登場

お堅い公官でさえ可愛らしいキャラクターをマスコットに広報をする令和です。大久保図書館にもマスコットキャラクターが誕生しました。キジトラ猫「おおにゃん」と茶トラ猫「ぐぼにゃん」のコンビです。図書館員エプロンを着用した姿で、児童書室と絵本コーナーを中心に大活躍の大久保図書館の猫達です。デザインしたのは図書館員の当代T氏です。公共図書館の図書館員には、絵心と工作技術に秀でた方々がいるものですが、大久保図書館ではとうとうキャラクターデザイナーまで現れたのかと驚きました。

チラシ作成は引き続きU氏、キャラクターデザインは当代T氏が担当して出来上がった「アラビア語」と「三言語」のチラシがこちらです。

新宿区立大久保図書館 協力：富澤規子氏（アラビア語翻訳者）
03-3209-3812

アラブのヤシの木

شجرة النخيل العربي

～桃栗3年ヤシ8年～

【日時】
令和4年
7月30日(土)・31日(日)
大久保地域センター3階 和室
午後1時～4時

どなたでも
出入り自由

「アラブのヤシの木」は今年で8年目!!
アラビア語絵本のよみかせや民芸品の展示もあります。アラビア文字で自分の名前を書いてみよう!

(講師プロフィール) 富澤 規子 (とみざわ のりこ) 氏
2005年よりエジプト在住。
2009年エジプト文化省大学校アカデミー・オブ・アーツ専攻士課程入学。
専攻士課程、修士課程修了を経て現在修士課程在学中。専攻は民俗学。
アラビア語児童書訳者として活動中。
日本アラビア語学会『季刊アラビア』第154号掲載。
「レバノンのアラビア語絵本が「ボローニャ・ラガッツィ賞」」など。
日本児童図書評議会JEBの会員。いばしボローニャ絵本翻訳吹奏楽ポスター。
SNS:「アラビア語絵本とエジプシャンフォークロア」

(シニアアシスタントのイラスト、2010年撮影)

※今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況により、内容等変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

新宿区立大久保図書館
主催：新宿区立大久保図書館

トルコ語・ペルシャ語・アラビア語の世界

مرحبا بكم سلام Merhaba

こんにちは、
トルコ・ペルシャ・
アラビアの文化を
おのしんじてください。

協力：高橋いづみ氏(トルコ語)
愛甲恵子氏(ペルシャ語)
富澤規子氏(アラビア語)
清見良太氏(国歌の輪プロジェクト)

＜内容＞
★トルコのどんち話「ナスレーティン・ホジャ」のおはなしを
トルコ語、ペルシャ語、アラビア語の3言語で読み聞かせ！
★トルコ語、ペルシャ語、アラビア語の言語別でコーナーを
設け、工芸品や絵本の展示をします。
※入場制限する場合があります。

どなたでも
出入り自由!
(最大30名まで)

令和4年9月11日(日)
13:30～16:00
大久保地域センター 4階 多目的ホール

お問い合わせ 大久保図書館 3209-3812

※今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況により、中止または
内容・会場等変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

茶トラ「くぼにゃん」が三か国おはなし会のチラシに登場します。アラビア語おはなし会のチラシの表にはまだ登場していませんが、裏面の案内図には登場します。

この可愛いキャラクターには純粋に「いいなあ」と思いました。アラビア語にはどうしても「難解な言語」「問題の多い地域の言語」というイメージがつきまといます。このネガティブイメージの払拭も、アラビア語絵本紹介活動の目的の一つですが、おおにゃん  くぼにゃん  は大いに助けになってくれそうです。

この年の新しい試みにはもう一つ、アラビア語おはなし会のチラシに「講師プロフィール」を初めて掲載してもらいました。

と言うのも、大久保図書館と館長米田氏が大手メディアにも取り上げられるようになると「大久保図書館のアラビア語イベント」も次第に認知されるようになってきました。それ自体は喜ばしいのですが、アラビア語の協力者が私以外であるかのような伝聞をちらほら聞きはじめたのです。大久保図書館のアラビア語協力者は、2026年現在に至るまで富澤一人です。「アラブのヤシの木」が始まった2015年はアラビア語絵本の読み聞かせ自体が、板橋区立いたばしボローニャ絵本館と新宿区立大久保図書館くらいでしか開催がなかったのですが、次第に同じような企画が他所で増えてきたらしく、私自身は日本不在なので誤情報が生まれやすい状況ができあがっていたのかもしれない。この状況を放置すると、そのうち「大久保図書館のアラビア語協力者」を勝手に名乗る不審者が現れる可能性もあるので、館長米田氏に相談し予防策として「講師プロフィール」を記載することにしました。

9年目のチラシも引き続きプロフィール記載です。プロフィールで紙面に余白が少なくなり、「おおにゃん」は前年同様裏面の案内図にのみ登場です。作成者は引き続き U 氏で、この裏面案内図には U 氏のちょっとしたアイデアが込められています。おおにゃんが小脇に抱えた本を拡大してみると「ねこでもわかるアラビアご」と題字が小さく書かれています。もしこの小さな題字に気づいた子ども達が「ねこでもわかるアラビアご」に興味をもって、図書館の蔵書から探してくれたらどんなに素敵でしょうか。

新宿区立大久保図書館 03-3209-3812 協力: 富澤規子氏(アラビア語翻訳者)

アラブのヤシの木

~ヤシの実がスイカにかわった!?~

【日時】
令和5年 7月22日(土)・23日(日)
大久保地域センター3階 和室
午後1時~4時

どなたでも 出入り自由

「アラブのヤシの木」は今年で9年目!!
アラビア語絵本のおみかせや民芸品の展示もあります。アラビア文字で自分の名前を書いてみよう!

①講師プロフィール 富澤 規子 (とみざわ のりこ) 氏
2005年よりエジプト在住。
2009年エジプト文化省大学アカデミー・オブ・アーツ専修士課程入学。
専修士課程、修士専修課程修了を経て現在修士課程在学中。専攻は民芸学。
アラビア語専攻に關した執筆に、
日本アラブ協会発行『季刊アラブ』第154号掲載。
「しんしんのアラビア語絵本が『ネロ・ニャー・ラガツィ』」など。
日本児童図書出版協会EBV会員。決定版しんしんアラビア語絵本監訳サポーター。
SNS:「アラビア語絵本とエジプシャンフォークロア」

②シェフオアシスのヤシ畑、
2019年撮影

Twitter Facebook

会場までの案内図 (大久保地域センター3階和室)

大久保地域センター

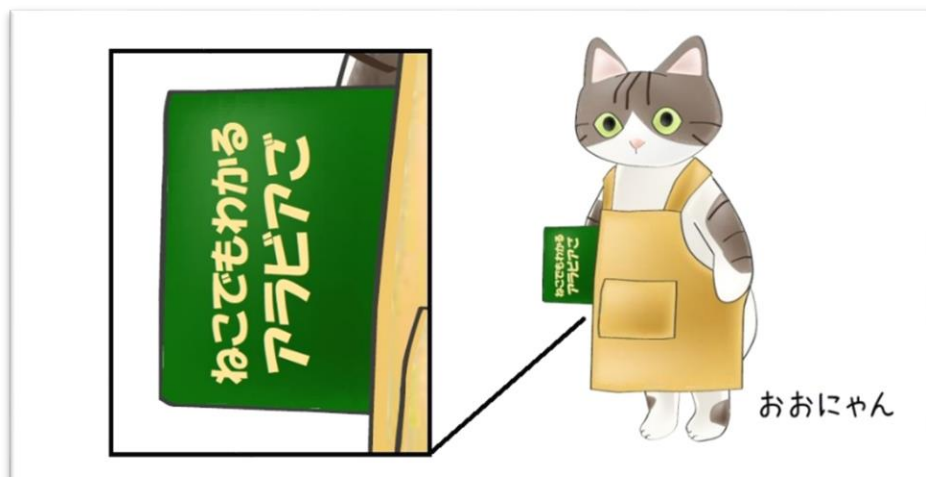
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-12-7 (3階・4階)
TEL: 03-3209-3961 / FAX: 03-3209-3962
Web: <http://ookuboccc.tokyo>

【開館時間】午前9時~午後10時
【休館日】5月、8月、11月、2月の第3日曜日
年末年始(12月29日~1月3日)

3階フロア

おおにゃん

それにしても、U氏の仕事のぬかりのなさには驚嘆すべきものがありました。こんな細かいところにまで手をつくす大久保図書館の姿勢に、アラブのヤシの木は支えられています。私はいつかエジプト生活が落ち着いたら、世界一簡単なテキスト「ねこでもわかるアラビア語」を書いてみたいと思っています。



そして2024年に「アラブのヤシの木」は記念すべき10周年を迎えました。コロナ禍以来、感染防止対策で図書館とは別階の和室での開催が続いていたので、久しぶりに館内絵本コーナーに帰還してのおはなし会です。

絵本コーナーではアラブと古代エジプトの装束でおおにゃんくぼにゃんがお出迎え。



配布されたチラシはこちらです。会場が図書館内絵本コーナーに戻ったので、案内図のための裏面もなく、猫達がいなのは少し寂しいなと思いました。

協力：富澤規子氏(アラビア語翻訳者)
桜美林大学の国際理解教育支援プロジェクト

アラブのヤシの木

10年目

～甘いヤシの実は
【日時】 たべごろです～

令和6年
7月27日(土)・28日(日)
どなたでも 出入り自由

大久保図書館 絵本コーナー
午後2時～5時

「アラブのヤシの木」は今年で10年目!!
アラビア語絵本のよみかせや民芸品の展示
もあります。民族衣装は試着もできるよ。
アラビア文字で自分の名前を書いてみよう!

〈講師プロフィール〉 富澤 規子 (とみざわ のりこ) 氏
2006年よりエジプト在住。
2009年エジプト文化語大学アカデミー・オブ・アーン準修士課程入学。
政治学専攻士学位取得、修士学術課程修了。
現在エジプトAhram Canadian University非常勤語学講師。
アラビア語訳筆に携わった仕事に、
日本アラブ協会発行『第14号アラブ』第154号掲載。
『レバノンのアラビア語絵本』『ボローニャ・ラガッツィ』など。
日本児童図書協会EBVY会員、いばしボローニャ絵本翻訳サポーター。
SNS:「アラビア語絵本とエジプシャンフォークロア」

(シベリアのアラビア語絵本、2010年撮影)

X (旧Twitter) Facebook

新宿区立大久保図書館
03-3709-3817

2024年は大人向けにリニューアルした「中東三言語」イベント再開だけでなく、中東三言語絵本の展示や、現地撮影の猫写真展示と盛りだくさんでした。あちらこちらに準備の手が分散し、10周年にも関わらずアラビア語版チラシはまたも見送りでした。



中東三言語関係の上三点の告知チラシは、職員 H 氏によるデザインで、やはりパワーポイント作成です。

おおにゃん 民族衣装で再登場

2025年「アラブのヤシの木」は11年目通算10回目を迎えました。この年は「三言語」もなく、記念すべき10回目なので今度こそアラビア語版チラシを作ろうかと考えていた矢先に送られてきたチラシ草稿に絶句しました。

手の込んだデザインで、素人が編集に失敗したが最後リカバリーは出来そうもない複雑さ、レイヤー構造がどのようになっているのか想像もできません。私も大学院生だった身として研究発表のために人並みにはパワーポイントは扱えるのですが、こんな複雑な作業がパワーポイントで可能なのかと驚愕し、これをもとにアラビア語版をつくる勇気はありませんでした。聞けば、2022年からキャラクターデザインを担当していた当代 T 氏がとうとうチラシ作成担当になったとのこと。そして後にこの原稿を書くために

作成エピソードの詳細を聞いて判明したのですが、当代T氏は昨年2025年の時点で既にイラストレーターと言う本職仕様のソフトで作成していたと言うのです。

一新したデザインなので、何か直すところはないかと問う館長米田氏のメールに「猫達の衣装が、湾岸風なのでエジプト風に直せますか？」と、衣装カタログのスクリーンショットを数点送りました。「アラブのヤシの木」と銘打ってはいますが、私の留学地がエジプトなので、どうしてもおはなし会の内容はエジプト民俗、民話に偏ってしまいます。それにアラビア語絵本の出版タイトル数で言うと、大きな人口を抱え伝統的にも学問と文化の中心地であったカイロの出版図書が突出して多いのです。そのため、できればマスコットキャラクターの着用衣装はエジプト風がいいと希望を伝えました。

アラブの民族衣装として日本人の頭にすぐに浮かぶ「頭巾を輪っかで留めた白と黒の長衣」は湾岸国の民族衣装（エスニックコスチューム）であると同時にナショナルコスチュームであり、湾岸各国の多くが公式行事での正装と定めているため現代でもメディア露出が多く日本人の印象に残りやすいのでしょう。一方、エジプトの民族衣装はナショナルコスチュームではないので、欧米及びアジア言語の報道映像に映りこむことは稀です。ナショナルコスチュームについて簡単に説明すると、身分を明確に表すエスニックコスチュームは共和制国家では公式の場の礼装として認められていないケースが多く、例を挙げると身分制度を廃した戦後日本では庶民の正装である羽織袴はエスニックコスチュームであると同時にナショナルコスチュームですが、武家階級の袴や公家階級の有職装束は公の場の礼装としては認められていません。

現在のエジプトは共和制ですから、王制時代には高位高官が着用していた赤いトルコ帽が禁じられて久しいです。民族衣装で公式の場に出席するのは宗教関係者か、もしくは公人ではない地方の高齢者くらいでしょうか。

さて、マスコットキャラクターの衣装を描きなおして欲しいと言う要求は、日程的に難しいかと遠慮がちなお願いでしたが、当代T氏は瞬く間に描きなおしてくだり、完成稿が送られてきました。その完成したチラシがこちらの二種になります。



新宿区立大久保図書館のマスコット猫達が、エジプト民族衣装「ガラベーヤ」の男性用を着ています。チラシ作成担当の当代T氏の本気が伝わる出来栄えに、もうアラビア語版チラシを作ろうと言う無謀な意識は完全に引っ込みました。

それにしても、日本広しと言えどもアラブの民族衣装の「湾岸風」と「エジプト風」の相違を理解し描き分ける図書館職員がいったいどれだけいるのでしょうか。当代T氏は特別中東ファンと言う訳でもなく、あくまでも業務としてこの描き分けをしているのだけなのです。

そして12年目

そして今年2026年は12年目通算11回目の「アラブのヤシの木」です。なんと干支が一周しました。一つの企画が12年目も継続できたことは奇跡のように感じますが、実は一年早くスタートした韓国語おはなし会シリーズ「コリア・ガーデン・スクエア」が今年で13年目を迎えるので、この継続は館長米田氏と優秀な歴代職員の皆様の実力で

なすべくしてなした大久保図書館の功績です。ちなみに「コリア・ガーデン・スクエア」のチラシでは大久保図書館のマスコット猫達は韓国の民族衣装を着ています。

せっかくの節目の年で、今年はエジプトでの仕事も早めに終わりそうなので、頑張っ
てアラビア語版チラシを作ってみようかなと、ダメ元で考えていました。編集に失敗し
て修復不可能になったら最初から作業しなおせばよいだけです。

送られてきたチラシに一段とまたオブジェクトのレイヤー構造が複雑になっているな
と眺めつつ、今年こそアラビア語版チラシを作りたいと返信しました。その私の申し出
についての館長米田氏の返事は以下の文面でした。

>ただ、今までパワーポイントで作っていましたが、

>イラストレーターというソフトを使っています。

>いわゆる今風のワカモノ言葉を使えば、

>かなり「ヤバイ」ソフトで、プロのデザイナーが使っているようなシロモノです。

イラストレーターがどのようなソフトか、私も少しは知っています。Windows 付属
の paint 機能の域を出れない私のデジタル作画技術では扱えないことは明白です。もし
アラビア語版チラシを作るなら、翻訳した文字列を送って書き換え作業は当代 T 氏にお
願いすることになりますが、アラビア語話者でない当代 T 氏にお願いするために作業指
示書を作るとなると想像しただけで結構な作業量です。「アラブのヤシの木」のチラシ
は12年目にして、素人には手が出せない領域にまで達していたと判明しました。

「アラブのヤシの木」は13年目もまだ開催する予感もありつつ、どんな災禍で中止
になるか予測もできないのが人の世なので、機会があるうちに作っておこうと言う意欲
もあります。なにより「本当にアラブ人に届いてしまった」高揚感が忘れられません。
これを書いている2026年6月では、他用との時間配分で気持ちが揺れており、もしアラ
ビア語版チラシに着手しても、開催日近くの完成で館内掲示だけにとどまってしまうか

もしれません。それでも「アラビア語だけで日本人一般には読めないチラシ」には読めないが故に魅力があります。今年はアラビア語版チラシが完成しているかどうか、大久保図書館に是非見に来てください。

12年目の開催日時は2026年7月25日土曜は16：00～19：00、26日日曜日14：00～17：00、どちらも大久保図書館内絵本コーナーでのおはなし会です。お問い合わせは大久保図書館03-3209-3812へ。

日本の子ども達へアラブの文化を紹介する活動は、大久保図書館職員の皆様のご尽力により支えられています。大久保図書館の大事な一員であるおおにゃん ٨٨٠٠٠٠٨٨ くぼにゃん ٨٨٠٠٠٠٨٨ と一緒に、皆様のご来場をお待ちしています。

(協力：新宿区立大久保図書館)

富澤規子（とみざわのりこ）

Ahram Canadian University（エジプト）言語翻訳学部日本語教師。エジプト文化省立大学学校アカデミー・オブ・アーツ（Academy of Arts）大学院にて民俗学準修士号取得。

アラビア語絵本についての執筆に、Web誌『リベラル21』掲載「リベラリズムとエジプト児童文学の世界（全4回）」、日本アラブ協会機関誌『季刊アラブ』掲載「レバノンのアラビア語絵本が「ボローニャ・ラガッツィ賞」」など。アラビア語絵本紹介活動についての執筆に、エジプト国立書籍資料館（国立図書館）『児童文学—研究と調査』30号掲載「アラビア語児童文学絵本について東京での紹介活動を通した私的試み」

原題"تجربتي مع أدب الطفل العربي من خلال نشاط تعريفني في طوكيو عن الكتب المصورة العربية لأدب الطفل العربي"などがある。

いたばしボローニャ絵本館翻訳おはなしボランティア。おはなし会シリーズに2015年から「アラブのヤシの木（新宿区立大久保図書館主催）」講師。

きょうりよくとみざわのりこ 協力：富澤規子氏（アラビア語翻訳者）
おうみりん たいけくくさ ね ことさいりかいきょういしくしえん
桜美林大学草の根国際理解教育支援プロジェクト

11本目

どなたでも
出入り自由

「アラブのヤシの木」は今年で11回目!!
アラビア語での絵本のよみきかせや、民芸品の展示もあるよ。
民族衣装は試着もできるよ。
アラビア文字で自分の名前を書いてみよう!



令和8年 7月25日(土) 16:00~19:00
26日(日) 14:00~17:00



苗苗くぼとしょかん 大久保図書館 絵本コーナー

<講師プロフィール>

富澤規子（とみざわ のりこ）氏

2005年よりエジプト在住。

2009年エジプト文化省大学校アカデミー・オブ・アーツ準修士課程入学。

民俗学準修士号取得、修士準備過程終了。

現在、エジプト Ahrām Canadian University ボランティア語学教師。

アラビア語絵本に関する執筆に、

「レバノンのアラビア語絵本が『ポローニャ・ラガッティ賞』など。

日本児童図書館評議会（JBBY）会員。

いたばしポローニャ絵本館翻訳サポーター。

SNS：「アラビア語絵本とエジプトファンフォークロア」



シークオアシスのヤシ畑
(2010年撮影)

X (旧 Twitter)



Facebook



しんじゅくりつおおくぼとしょかん
新宿区立大久保図書館

☎ 03-3209-3812

Cover designed by Magnific